

第2次船橋市文化振興基本方針 進捗管理シート

1: 目標を大幅に下回ってしまった。
2: 目標をやや下回ってしまった。
3: おおむね目標通りに達成できた。
4: 目標をやや上回る実績が得られた。
5: 目標を大幅に上回る実績が得られた。

No.	事業名	担当課	最も該当する基本目標	最も該当する施策	関連する基本目標・施策	開催経緯	事業概要	実施主体	市との関わり	令和5年度目標	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実施予定	令和5年度決算額	令和6年度予算額	令和5年度目標達成度	備考
1	船橋市出張美術展	文化課	1 気づき始める	基本目標1 気づき始める施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築	基本目標1 気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	平成29年度の船橋小学校での開催を機に、市内の公民館や学校、文化施設を会場とし、市所蔵の美術品を紹介する展覧会「船橋市出張美術展」を実施している。	平成29年度の船橋小学校、令和元年度の北部公民館、令和5年度の郷土資料館など、市内の公民館や学校、文化施設を会場に「船橋市出張美術展」として、市所蔵作品や市ゆかりの美術品を紹介、市民により身近な場所で美術鑑賞を楽しんでもらう機会をつくる。 会期：不定期 会場：公民館、学校、文化施設等	市	主催	【目標値】アンケート回収数 50枚 【目標値算出方法】過去の出張美術展の実績から（会期・内容を踏まえて）	令和5年度出張美術展「どこかで見た不思議な風景」 【会期】令和5年5月27日(土)～6月11日(日) 【会場】郷土資料館【入場者数】1,334人【主催】文化課・郷土資料館 【アンケート回収数】66枚	【目標値】アンケート回収数 70枚 【目標値算出方法】過去の出張美術展の実績から（会期・内容を踏まえて）	①令和6年度出張美術展1【会期】令和6年6月～7月【会場】郷土資料館 ②令和6年度出張美術展2【会期】令和6年9月～10月【会場】飛ノ台史跡公園博物館	決算額 440,800円 内印刷製本費(チラシ・ポスター代) 171,600円 内委託料(輸送・展示委託) 269,200円	1,405,585円	4	
2	文化イベント情報紙「BUNBUN Funabashi.」及び各文化施設	文化課	1 気づき始める	基本目標1 気づき始める施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築	基本目標2 学び楽しむ施策② 文化・芸術の本質を尊重しつつ、時代の要請に対応した事業の展開	文化振興基本方針で掲げている重点プロジェクトの一環として、市内の文化施設がそれぞれ発信している情報をまとめ、よりわかりやすい情報紙を作成する。	市内の各文化施設が発信していた情報をひとつにまとめたWeb版フリーペーパー「BUNBUN Funabashi.」を年6回発行する。	市	主催	ホームページ閲覧件数【月500件】	【決算額 0円】 【指標値実績 20,704件】2カ月に1度のペースで発行。市内文化施設に若干枚紙媒体で配布。令和2年度に引き続き、イベントカレンダー形式ではなく、各施設ごとのイベント案内とした。閲覧数は目標数値を大きく上回った。	ホームページ閲覧件数【月500件】	3カ月に1度のペースで発行。市内文化施設に若干枚紙媒体で配布。さらに読みやすいため、イベントをまとめたカレンダーページと各施設からピックアップしたイベントを掲載する形式に変更。	0円	0円	4	
3	地域の生涯学習情報の収集と発信	社会教育課	1 気づき始める	基本目標1 気づき始める施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築	基本目標1 気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	船橋市等が行っている、市民を対象とした生涯学習機会の情報を知ることができなかった。平成11年度以来、社会教育課でとりまとめ1冊の冊子にまとめている。	行政が実施する生涯学習事業を積極的に収集し、発信していきます。	市	主催	生涯学習ガイドブック「楽しく学ぼうふなばし」に掲載する事業数の増加	【掲載事業数】1246事業	生涯学習ガイドブック「楽しく学ぼうふなばし」に掲載する事業数の増加	令和5年度に引き続き、生涯学習事業の収集を行い、冊子にまとめる	0円	0円	2	
4	船橋市役所 特案係	商工振興課	1 気づき始める	基本目標1 気づき始める施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築	基本目標4 活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	平成26年度より、観光客誘致のため、YouTubeでドラマ仕立ての動画を制作し、公開している。動画で扱う観光資源は多様で、史跡、伝統芸能、鉄道網の充実などの他、市民の音楽活動が盛んであるという船橋の文化的特徴も紹介していくことになった。	市の観光PRドラマとして、船橋が誇るモノ・コトを紹介していく事業であり、住んでいると気づかない地元の良さや観光資源の掘り起しを行っていくものである。	ふなばし産品ブランド協議会（令和6年3月31日解散）	商工振興課が事務局を務める	再生回数：3,481回 船橋市観光PRドラマ「特案係」の1～12話（番外編含む）が合計3,481回再生された。	再生回数：3,481回 船橋市観光PRドラマ「特案係」の1～12話（番外編含む）が合計3,481回再生された。		決算額 0円			実施主体である「ふなばし産品ブランド協議会」が令和6年3月31日付で解散し、事業は継続されていない。	
5	ふなばしロケーションズ「ふなロケ」	商工振興課	1 気づき始める	基本目標1 気づき始める施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築	基本目標4 活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	これまで各施設で行ってきた撮影対応を広報課に一元化して平成27年5月に事業開始し、同時にWE Bサイトを設置した。令和3年度から、「ロケーションガイド ふなばし撮おらんせ」から、「ふなばしロケーションズ「ふなロケ」」に事業名を変更した。	船橋市内にある様々な魅力的なロケーションを活用し、テレビドラマや映画等の撮影に提供することで、シビックブランドを醸成するとともに、施設を有効活用し、当該施設に関わる市職員や市民のモチベーションを高めることを目的とする。	商工振興課 市	【目標値】撮影支援実績35件	撮影支援実績：31件 フジテレビ『風間公親 - 教場0-1 -』、テレビ朝日『相棒 season22』などの撮影支援を行った。ほかにも、撮影支援した作品のロケ風景や出演者のサイン色紙を展示する企画展を市内11カ所で開催した。	【目標値】撮影支援実績40件	企画展開催場所：11カ所	決算額 233,200円	予算額 225,280円	3		
6	魅力発信サイトFUNABASHI Style	広報課	1 気づき始める	基本目標1 気づき始める施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築	基本目標1 気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	平成28年3月のホームページ再構築に伴い、既存の市ホームページに混在していた、船橋の魅力や市内外に発信するコンテンツのみを独立させ、新ホームページを設置した。	「食べる」「見る」「遊ぶ」等の船橋の魅力を市内外に発信する。	市	主催	【指標値】市の情報をホームページで入手している人の割合（市民意識調査） 25.2% 【根拠】R4度実績値	市民意識調査市の「情報をホームページで入手している人の割合」 24.0% 「西船橋産葉つき枝豆」などの農水産物や、市出身の著名人・スポーツ選手、「ふなばし市民まつり」などのイベント、といった船橋の魅力・シビックブランド醸成につながる記事を作成し、公開した。	【指標値】市の情報をホームページで入手している人の割合（市民意識調査） 24.0% 【根拠】R5度実績値	市出身・ゆかりの著名人・スポーツ選手の紹介、ふなばしアンデルセン公園等既存ページのアップデートなど、船橋の魅力等を発信するページを作成し公開する。	決算額 0円	予算額 0円	2	
7	地域ふれあいコンサート	文化課	1 気づき始める	基本目標1 気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	基本目標2 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	平成6年に船橋市総合体育館の開館記念事業として、市内の音楽団体を中心となって実施した「千人の音楽祭」を契機に、平成7年度から「ふなばし音楽フェスティバル」の一事業として開始。従来より、各公民館で行われていた演奏会を、地域ふれあいコンサートに位置付けたほか、長年の取組みの中で、地域の中で新たに実行委員会を組織し、会場数を拡大してきた。	地域住民で組織された実行委員が、市民に最も身近な施設である公民館等を会場に、気軽に音楽の生演奏を楽しむようコンサートを開催します。船橋ゆかりや若手の音楽家たちの演奏機会の創出するとともに、プロの演奏家による上質な音楽の鑑賞機会を市民に提供することで、音楽文化のすそ野を広げます。 開催時期：1月下旬～3月上旬 会場：市内公民館等	実行委員会 主催	【目標値】入場者数1,900人 【目標値算出方法】開催館の定員数合計×80%	市内公民館等開催館 15会場 出演者 52名 入場者数 1,770名 特記事項：1館、本番2日前に出演者が体調不良となり、中止となった。	【目標値】入場者数1,900人 【目標値算出方法】開催館の定員数合計×80%	市内公民館等開催館 14会場	決算額 1,867,379円 内市交付金 1,091,840円 内その他（チケット収入・公民館事業費等） 775,539円	市交付金 1,120,000円	2	中止のなった公民館の定員数が349人であり、その分目標人数をやや下回ってしまった。	
8	船橋市所蔵作品展	文化課	1 気づき始める	基本目標1 気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	基本目標1 気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	平成13（2001）年に「清川記念館収蔵展」を開催して以来、平成19（2007）年までに4回、平成21（2009）年に「船橋市所蔵作品展」と改題してからは毎年市所蔵美術品を紹介している。その中で、平成27年度に（財）古澤野球博物館から野球資料と共に美術品が寄贈されたことから、教育委員会主催事業として、市民ギャラリーで開催している所蔵作品展を開催している。	市が所蔵する美術品を活用し、市民が身近な場所で美術鑑賞をできるよう、企画展を開催する。また、展覧会の関連事業として、市民対象の美術講座や公開フォーラムなどを取り、所蔵品や船橋の文化状況に対する理解を促す機会とする。 開催時期：12月 会場：船橋市民ギャラリー	市／（公財）船橋市文化スポーツ公社 主催	【目標値】入場者数2,000人 【目標値の算出方法】過去の所蔵作品展の実績から（会期・内容を踏まえて）	令和5年度船橋市所蔵作品展「フナバシストーリー 北井一夫」 【会期】令和5年12月6日（水）～24日（日）19日間【会場】船橋市民ギャラリー（全部） 【入場者数】2,602人	【目標値】入場者数1,500人 【目標値の算出方法】過去の所蔵作品展の実績から（会期・内容を踏まえて）	「令和6年度 アレも、コレも、船橋市所蔵作品展 -ふなばしアートカードになりました-」【会期】令和6年12月4日（水）～15日（日）12日間【会場】第1～3展示室、第1ホール	3,319,535円 市決算 2,030,215円 指定管理 1,289,320円	1,836,800円 市予算 588,800円 指定管理 1,248,000円	5		
9	船橋市文化活動普及事業	文化課	1 気づき始める	基本目標1 気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	基本目標3 育みつなげる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	平成27年度に吉澤野球博物館より文化の発展のために寄付された現金預金を原資とする船橋市文化振興基金を設置。基金の運用益と市予算と併せて子どもたちが身近な場所での質の高い文化・芸術の鑑賞・体験機会を提供することを目的として平成28年度から開始。事業実施にあたり、アーティスト及び専門家事前に公募し、書類審査と専門家による意見を参考に派遣講師名簿である「アーティストバンク」に登録し、学校からのオファーに基づき事業を実施する。	子供たちが身近な場所で文化活動に触れる機会を提供し、豊かな心や創造性を育む。 事業対象：市内の市立小・中・高等学校及び特別支援学校 開催数：年10校程度	市／（公財）船橋市文化スポーツ公社 主催	【目標値】実施校数20校	実施校：小学校16校、中学校3校、特別支援学校1校 事業実施者：11組 実施ジャンル：音楽10回、舞踊2回、身体表現4回、書2回、美術1回、伝統芸能1回	【目標値】実施校数20校	実施校：小学校15校、4校、特別支援学校1校 事業実施者：13組 実施ジャンル：音楽15回、舞踊1回、書4回	決算額 5,122,370円 内文化活動普及事業者報酬金 800,000円 内アドバイザー選定謝礼 29,400円 内アーティスト選定・コーディネート業務委託 4,292,970円	6,024,000円 市予算 4,533,000円 文化振興基金 1,491,000円	3		
10	ロビーコンサート	文化課	1 気づき始める	基本目標1 気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	基本目標1 気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	平成5年3月、船橋吹奏楽団の木管五重奏が全日本アンサンブルコンテスト（社団法人全日本吹奏楽連盟主催）で金賞を受賞し、市役所ロビー（現在の美術コーナー）で記念コンサートを開催したことがきっかけとなり、同年7月から始まった。100回記念となった平成14年12月には、ニューフィルハーモニーオーケストラ千葉のコンサートマスター水住篤子さんを迎え、ピアノ三重奏曲を演奏していただいた。平成19年6月には150回を迎え、平成24年1月には第200回、平成28年7月に第250回を実施した。	昼の憩いのひとときに、市民及び市職員にさわやかな音楽と安らぎを提供するとともに、音楽の生演奏に触れることによって音楽文化に関心を持ってもらう機会とするため、月に1回（8月を除く）、市役所1階ロビーで質の高い音楽の演奏会を実施します。	市	主催	アンケートの満足度【90%以上】	開催日：毎月第3水曜日（8月を除く） 開催回数：11回 出演者数：11組 19人 観覧者数：991人 アンケート満足度 96.3% 特記事項：	アンケートの満足度【90%以上】	開催日：毎月第3水曜日（8月を除く） 開催回数：11回	決算額 368,855円 内出演者謝礼 183,755円 内選考委員謝礼 30,000円 内ピアノ保守点検・調律費用 155,100円	368,855円	4	

第2次船橋市文化振興基本方針 進捗管理シート

- 1: 目標を大幅に下回ってしまった。
- 2: 目標をやや下回ってしまった。
- 3: おおむね目標通りに達成できた。
- 4: 目標をやや上回る実績が得られた。
- 5: 目標を大幅に上回る実績が得られた。

No.	事業名	担当課	最も該当する基本目標	最も該当する施策	関連する基本目標・施策	開催経緯	事業概要	実施主体	市との関わり	令和5年度目標	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実施予定	令和5年度決算額	令和6年度予算額	令和5年度目標達成度	備考
11	市民ギャラリー・茶華道センター主催事業	文化課 【指定管理者: (公財) 船橋市公園協会】	I 気づき始める	基本目標 I 気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供		市民の文化芸術に対する理解を深め、文化的な環境の中で生きる喜びを見出すことを目的として開催する。また、普段茶華道センターに来る機会のない人にも、茶華道センターに立ち寄りてほしいと企画した。	各種教室事業の実施 (華道の世界・茶道の世界・子供茶道教室・囲碁入門子供教室・日本舞踊子供教室・外国人対象日本伝統文化体験教室・カジュアル茶道・書道教室) ①華道の世界は、初心者から経験者までを対象として、四季折々の花材を使いながら華道の基礎から応用までの技術の習得を目指す。 ②茶道の世界は各流派の立ち居振る舞いや茶の点て方など実践的な作法の習得を目指す。 ③囲碁入門教室は、囲碁未経験者を対象に、囲碁の楽しさを教える。 ④日本舞踊子供教室は、小学生を対象に礼儀作法から始まり古典音楽に合わせて手足の動作などを実践的な技術の習得を目指す。 ⑤子供茶道教室(ハッピーサタデー事業)は、小学生を対象に、楽しいお稽古から日本文化の素嗜らしさ・大切さを学び、また礼儀作法についても習得させることを目的とする。 ⑥日本伝統文化体験教室は、外国人を対象に、日本の伝統文化である茶道や華道に親しむと共に、茶道・華道の基本的な知識を学び、初歩的な所作や技能を身につける。 ⑦茶室開放日は、茶室を無料開放し、茶室見学、茶会体験を行った。 ⑧カジュアル茶道は、より身近に茶道の所作に親しみ、本格的な茶道への入門となることを目指す。 ⑨書道教室は、小学生対象に書道の伝統と技術を学ぶことを目指す。 ⑩スクエア寄席は日本伝統芸能である寄席を楽しむ。	指定管理者 自主事業	市との関わり	【目標値】 入場者数2150人 【目標値算出方法】 予算額から人数を算出	①～⑨ 【指標値実績 1,897人】 ①令和5年4月から令和5年9月まで、令和5年10月から令和6年2月までの年2期として開催。1期当たり10回開催。参加者数534名 ②令和5年4月から令和5年9月まで、令和5年10月から令和6年3月までの年2期として開催。1期当たり10回開催。参加者数1196名 ③令和5年8月3日開催。参加者数15名 ④令和5年6月～12月までの土曜日 全10回。参加者数15名 ⑤令和5年6月～令和6年3月までの第3土曜日 全10回。参加者数461名 ⑥令和6年1月～2月まで3回開催。参加者数16人 ⑦令和5年4月～令和6年2月の1月を除く毎月第2金曜日 全11回開催。参加者数460名 ⑧令和5年5月～令和6年2月までの月曜日 全10回。参加者数133名 ⑨令和5年4月～令和6年3月までの土曜日 全24回。参加者数285名 【決算額 115,000円】 【指標値実績 115名】 第1回 令和5年8月18日(金) 参加者数56名 出演者 真打 春風亭三笑 第2回 令和6年3月7日(木) 参加者数59名 出演者 真打 春風亭三笑	【目標値】 入場者数2150人 【目標値算出方法】 予算額から人数を算出	茶華道センター	【決算額 4,754,290円】	【予算額 5,087,000円】	2	各講座により目標数値は講座ごとに異なるため、目標値の人数は、予算から人数を算出
13	市民文化ホール主催事業	市民文化ホール	I 気づき始める	基本目標 I 気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	基本目標 II 学び楽しむ 施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	市民文化ホールは、市民が優れた文化芸術を享受できる機会を提供することを経営方針としており、開館時よりさまざまなジャンルの質の高い公演の開催に努めている。 また、例年事業テーマを道定し、多彩な事業と併せて年度ごとに特色のある事業も展開している。	様々なジャンルの質の高い公演を実施するとともに、市民がアーティストと直接共演する場合や学ぶ機会を提供する。	市 主催・共催	市との関わり	【目標値】 入場者数13,300名 【目標値算出方法】 市民文化ホール定員(1,000名)×70%×公演数	公演 19本【主催事業8本(内、2回公演×2本)、共催事業11本】 入場者数 13,647名	【目標値】 入場者数11,200名 【目標値算出方法】 市民文化ホール定員(1,000名)×70%×公演数	公演 16本(主催事業6本、共催事業10本)	有料公演に係るもの 決算額 31,505,310円 内県負担金 1,546,500円 内その他(入場料等収入) 29,963,650円 内文化芸術ホール事業基金繰出金 0円	予算額 文化芸術ホール事業基金繰出金 5,500,000円	4	
14	市民文化創造館(きららホール)主催事業	市民文化創造館(きららホール)	I 気づき始める	基本目標 I 気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	基本目標 II 学び楽しむ 施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	市民文化創造館は、市民が優れた文化芸術を享受できる機会を提供することを経営方針としており、開館時よりさまざまなジャンルの質の高い公演の開催に努めている。 また、例年事業テーマを道定し、多彩な事業と併せて年度ごとに特色のある事業も展開している。	様々なジャンルの質の高い公演を実施するとともに、市民がアーティストと直接共演する場合や学ぶ機会を提供する。	市 主催・共催	市との関わり	【目標値】 有料公演入場者数 1,293名 無料公演等入場者数 1,955名 【目標値算出方法】 市民文化創造館定員(264名)×70%×公演数 ※ただし無料公演は250名、ワークショップは募集人数が少ないため、目標値を30名とする。	有料公演 7本【主催事業6本(内、2回公演×1本)、共催事業1本】 有料公演入場者数 1,263名 無料公演等 12本(ちよっとよりみちライブ(特別公演含む)11本、ワークショップ1本) 無料公演等入場者数 1,978名	【目標値】 有料公演入場者数 1,663名 無料公演等入場者数 1,955名 【目標値算出方法】 市民文化創造館定員(264名)×70%×公演数 ※ただし無料公演は250名、ワークショップは募集人数が少ないため、目標値を30名とする。	有料公演 9本【主催事業9本(内、2回公演×1本)】 無料公演等 12本(ちよっとよりみちライブ(特別公演含む)11本、ワークショップ1本)	有料公演に係るもの 決算額 2,849,925円 内県負担金 0円 内その他(入場料等収入) 2,679,985円 内文化芸術ホール事業基金繰出金等 169,940円 ※繰出金のうち4,840円は文化ホールから補填 無料公演等に係るもの 決算額 1,435,000円	予算額 有料公演に係るもの 文化芸術ホール事業基金繰出金 700,000円 無料公演等に係るもの 報酬費 1,800,000円	3	
15	ふなばし市民活動フェア	市民協働課	I 気づき始める	基本目標 I 気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	基本目標 III 育みつなげる 施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持てる仕組みの構築	市民活動団体が日々の活動内容を紹介することにより、これからボランティア活動を始めたい人が、市内の市民活動団体について知ることができきつなげを提供するイベントとして、平成20年度より開催している。	地域へ第一歩を踏み出そうとする方などに対して、市民活動やボランティア活動など様々な社会貢献活動に参加するきっかけの場を提供するためのイベントを実施している。	実行委員会 共催	市との関わり	【目標値】 入場者数700人	参加団体数 70団体 来場者数 468名 企業連携 市内6企業	【目標値】 入場者数 700人	会場 市民活動サポートセンター・きららホール 参加団体数 73団体	決算額 525,276円	651,660円	2	
16	船橋市バーチャル美術館	文化課	I 気づき始める	基本目標 I 気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供		令和2年度、新型コロナウイルス感染症が流行し、「新しい生活様式」下で、市民が自宅にしながら文化・芸術体験ができる機会を提供するため、展覧会場を360度カメラで撮影した映像などを掲載した市の美術専用サイト「バーチャル美術館」を開館した。	令和2年度市所蔵作品展「種貞雄と清川コレクション」の展覧会場を360度カメラで撮影し、音声ガイドや船橋市デジタルミュージアムと連携させた作品の高精細画像を掲載した「バーチャル展示室」をはじめ、市収蔵作家の紹介動画や展覧会情報など市の美術作品や活動に関する情報をインターネット上で公開し、コンテンツの充実を図っている。	市 主催	市との関わり	【目標値】 年間アクセス数 3,500回	【指標値実績】 3,796回	【目標値】 年間アクセス数 3,700回	決算額 264,000円 内使用料及び賃借料(サーバ利用料) 264,000円	264,000円	3		
17	食育推進事業	地域保健課	I 気づき始める	基本目標 I 気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	基本目標 I 気づき始める 施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	食育推進事業の一環である食文化の継承、食に関する知識の啓発を目的として令和2年度1月より市ホームページ「ふなばしの食育」内で公開開始。 令和4年度3月分より郷土資料館との連携によるデジタルサイネージでの掲示、カレンダーの配布を行っている。	食育推進事業は、乳幼児から成人、高齢者に至るまで食に関する知識の啓発を目的として、一人ひとりが自分自身で健康を守り、食の大切さを知ることを目的に啓発を行う事業である。行事食カレンダーは食育推進事業の一環として、各月の行事を記載したカレンダーとともに、ひなまつり、端午の節句、十五夜といった日本の伝統的な行事及び行事食について紹介し、食文化の継承や、食に関する知識の啓発を図っている。	市 主催	市との関わり	【目標値】 ホームページ閲覧件数 年3500件 【目標値算出方法】 過去の実績及び現在の指標を参考に算出	【実績】 ホームページ閲覧数 3217件 行事食カレンダーを市ホームページ「ふなばしの食育」内で公開、郷土資料館との連携によるデジタルサイネージ掲示、カレンダーの配布を行った。 さらに、6月に実施した食育展では年間の行事食をパネル展示で紹介し、啓発を行った。	【目標値】 ホームページ閲覧件数 年3500件 【目標値算出方法】 過去の実績及び現在の指標を参考に算出	引き続き、行事食カレンダーを市ホームページ「ふなばしの食育」内で公開、併せてX、Facebookでの周知を行う。また、郷土資料館との連携によるデジタルサイネージ掲示、カレンダーの配布を行う。 食育展で年間の行事食をパネル展示で紹介し、啓発を行う。	決算額 0円	予算額 0円	2	
18	船橋市文学賞/文学講座	文化課	II 学び楽しむ	基本目標 II 学び楽しむ 施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	基本目標 III 育みつなげる 施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持てる仕組みの構築	市民の日常的な文学活動の活性化を通して、豊かな市民生活の創造に資することを目的とし、昭和63年に創設。	船橋市における文芸活動の振興を図るため、小説・児童文学・詩・短歌、俳句の各部門の作品を公募し、特に優れた作品を選挙(文学賞、佳作を表彰)する。また、授賞式と懇談会を開催して選者と受賞者の交流の場を設けており、文学賞、佳作を受賞した作品は、「船橋市文学賞作品集」として編集し、有償頒布している。船橋市文学賞選者により、一部門ごとに毎年度、講座(講習)を実施し、船橋市文学賞への募集への一助としている。	市 主催	市との関わり	【目標値】 応募者数140人 【目標値算出方法】 直近3年間の平均値	【文学賞】 応募者数139人(内訳) 小説28、児童文学20、詩55、短歌15、俳句21 【文学講座】 俳句部門の講座を開催。48名が参加した。	【目標値】 応募者数140人 【目標値算出方法】 直近3年間の平均値	【文学賞】 小説・児童文学・詩・短歌・俳句部門の作品を募集。 【文学講座】 小説部門の講座を開催。	決算額 2,894,195円 内報償費(道着謝礼、賞賜金) 2,240,000円 内高費用(作品集の印刷製本費等) 649,195円 内その他 5,000円	2,838,000円	3	
19	各種芸術文化事業の主催及び共催【三曲祭】	文化課	II 学び楽しむ	基本目標 II 学び楽しむ 施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	基本目標 III 育みつなげる 施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持てる仕組みの構築	昭和53年・三絃・尺八の愛好家により、邦楽の普及を目的として船橋市三曲協会が結成され、以後毎年三曲祭を開催している。(平成29年度第40回) また、共催事業として、伝統文化を身近に感じてもらったため公民館にて「三絃・尺八による芸術劇場を実施。	伝統的な邦楽器として最も一般的な楽器である三絃・尺八の普及を目的として、三曲を市民が鑑賞し親しんでもらうとともに、愛好家に発表の場を設けることで芸術文化の振興に寄与する。	市・三曲協会 主催	市との関わり	【目標値】 入場者数190名 【目標値算出方法】 前年度入場者数を四捨五入したものの	開催日時 令和5年6月4日(日曜日) (三味線)・尺八からなる三曲を市民が鑑賞し親しんでもらうとともに、愛好家に発表の場を設けることで芸術文化の振興に寄与する。 開催日時 令和5年6月4日(日曜日) 1時30分開演(1時間開演)～17時 会場 船橋市民文化ホール 出演者 約140名 来場者数 約400名	【目標値】 入場者数400名 【目標値算出方法】 前年度入場者数を四捨五入したものの	開催日時 令和6年6月9日(日曜日) 1時30分開演(1時間開演)～17時 会場 船橋市民文化ホール	決算額 112,420円 内印刷製本費(プログラム・ポスターの印刷) 112,420円	102,740円	4	

第2次船橋市文化振興基本方針 進捗管理シート

1: 目標を大幅に下回ってしまった。
2: 目標をやや下回ってしまった。
3: おおむね目標通りに達成できた。
4: 目標をやや上回る実績が得られた。
5: 目標を大幅に上回る実績が得られた。

No.	事業名	担当課	最も該当する基本目標	最も該当する施策	関連する基本目標・施策	開催経緯	事業概要	実施主体	市との関わり	令和5年度目標	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実施予定	令和5年度決算額	令和6年度予算額	令和6年度目標達成度	備考
20	各種芸術文化事業の主催及び共催【白舞祭】	文化課	Ⅱ学び楽しむ	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	基本目標Ⅲ育みつなげる施策② 文化事業への参加を通して、市民が地域や社会とのつながりを持てる仕組みの構築	昭和38年に日本舞踊各流派からなる船橋市日本舞踊連盟が設立され、市と周主催により毎年「船橋市日舞祭」を実施している。	日本伝統文化である日本舞踊の発表の場を設けることにより、団体の活動支援及び育成を図るとともに、日本舞踊の継承及び芸術文化の振興を図る。 開催時期：7月上旬 会場：船橋市民文化ホール 主催：船橋市日本舞踊連盟・船橋市教育委員会	市・日本舞踊連盟	主催	【目標値】 入場者数360名 【目標値算出方法】 前年度入場者数を四捨五入したもの	開催日時 令和5年7月2日（日曜日） 12時開演（11時30分開場）～19時10分 会場 船橋市民文化ホール 出演者 約57名 来場者数 約363名	【目標値】 入場者数360名 【目標値算出方法】 前年度入場者数を四捨五入したもの	開催日時 令和6年7月7日（日曜日）12時開演（11時30分開場）～19時10分 会場 船橋市民文化ホール	決算額 49,280円 内印刷製本費（プログラムの印刷）49,280円	57,200円	3	
21	各種芸術文化事業の主催及び共催【合唱祭】	文化課	Ⅱ学び楽しむ	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	基本目標Ⅲ育みつなげる施策② 文化事業への参加を通して、市民が地域や社会とのつながりを持てる仕組みの構築	昭和30年に中央公民館（S30.11.1開館）の落成記念として開催され、前身となる連絡協議会が設立された。その後昭和59年（創立30周年）に「船橋市合唱連盟」となる。以降毎年1回教育委員会主催により連盟加盟団体だけでなく小中学校合唱部などを招待し、出演してもらうなど交流を図っている。	広く市民に合唱の楽しさを紹介し、音楽活動振興の一助とすると共に合唱団体相互の交流を図る。 開催時期：12月上旬 会場：船橋市民文化ホール 主催：船橋市合唱連盟・船橋市教育委員会	市・合唱連盟	主催	【目標値】 入場者数300名 【目標値算出方法】 前年度入場者数を四捨五入したもの	開催日時 令和5年12月3日（日曜日） 第1部 10時10分開演～13時00分 第2部 14時00分～17時40分 会場 船橋市民文化ホール 前年度入場者数を四捨五入したもの	【目標値】 入場者数350名 【目標値算出方法】 前年度入場者数を四捨五入したもの	開催日時 令和6年11月30日（土曜日） 第1部 13時30分開演～16時20分 第2部 10時30分開演～13時00分 第3部 14時00分開演～16時45分 会場 船橋市民文化ホール	決算額 203,440円 内印刷製本費（プログラム・ポスターの印刷）93,940円 内看板製作費 49,500円	233,020円	3	
22	ふなばし市民大校	社会教育課	Ⅱ学び楽しむ	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	平成16年4月、老人大学、スポーツ健康大学、ボランティア大学、生涯学習コーディネーター養成講座を統合し、ふなばし市民大校として新たにスタートした。	まちづくり学部はまちや地域に関心を持ち、自分に合ったボランティア活動につながる知識や技術の習得を目指します。いきいき学部は授業やクラス会活動とおし、知識を共有した仲間との関係づくりを行います。短期で行う特別講座では人生100年時代を想定して自らの人生設計を積極的に考え、生涯をとおして知識と時代の変化に応じたスキルを獲得することができるようなきょうかけづくりとなる内容を提供します。	市	主催	翌年度のふなばし市民大校校応募倍率120% 【目標値算出方法】 前年度入場者数を四捨五入したもの	まちづくり学部 定員120名 応募者数114名 応募倍率95% いきいき学部 定員294名 応募者数346名 応募倍率118% 計 定員414名 応募者数460名 応募倍率111%	翌年度のふなばし市民大校校応募倍率120% 【目標値算出方法】 前年度入場者数を四捨五入したもの	令和6年度ふなばし市民大校まちづくり学部、いきいき学部全学科及び特別講座を実施	13,778,516円	43,914,000円	2	令和6年度よりふなばし市民大校事務局業務を委託し、人件費等を計上したことから予算額が増加している。
23	ふなばし市民まつり	商工振興課	Ⅱ学び楽しむ	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	基本目標Ⅰ気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	昭和43年度より、産業まつりを「市内の商業、工業、農業の優秀な生産品と観光の現状を広く市民に紹介し、市民の協力と理解を得ながら実施されていくものであり、これらの産業の躍進ぶりを広く紹介し、商品販路を広げ、産業の振興を図り、併せて市民生活を向上させていくもの」として開催するようになった。平成15年度より名称を「市民まつり」として市民主体を旨とし、開催されている。	「さまざまな産業がいきいきまち・ふなばし」で学び、働き、暮らす人々が力を合わせ、皆で「まつり」をつくり、参加することにより「活気とにぎわいのあふれるふなばし」を実現するため、ふなばし市民まつりを開催する。	ふなばし市民まつり実行委員会	実施6団体のうちの1団体（商工振興課が事務局を務める）	【目標値】 来場者数636,000人 【目標値算出方法】 前年度開催時の令和元年度と同等の数値	総来場者数：619,486人 開催日：令和5年10月14～15日、18日 ①めいど・いん・ふなばし（10/14、15） ②ジョイ&ショッピングフェア（10/14） ③ふれあいまつり（10/15） ④船橋港観水公園花火大会（10/18）	【目標値】 来場者数636,000人 【目標値算出方法】 令和元年度と同等の数値	開催日：令和6年9月28～29日 ①めいど・いん・ふなばし（9/28、29） ②ジョイ&ショッピングフェア（9/28） ③ふれあいまつり（9/29） ※花火大会は中止	決算額 71,588,589円	市負担金 42,500,000円	3	2日目の10月15日（日）は雨の影響で午後2時からの開催となったものの、目標数値に近い来場者数となった。
24	ふなばし三番瀬クリーンアップ	環境政策課	Ⅱ学び楽しむ	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	三番瀬の清掃と自然観察会等を市民・事業者・市民団体・行政とが協働して行うことにより、三番瀬に対する関心と理解を深め、もって三番瀬の保全を図る事を目的として平成13年より開催している。	市民・市民団体・事業者・行政が協働により、毎年10月中旬～下旬に、ふなばし三番瀬海浜公園前の砂浜の清掃活動を行う。また、日本大学生産工学部によるマイクロプラスチック調査や、小学生を対象に募集した絵画の展示、参加団体が企画するイベントも併せて実施している。	実行委員会	後援	【目標値】 参加者数700人 【目標値算出方法】 令和12年度目標値1,000人に対する段階的目標（第3次船橋市環境基本計画）	参加者数 819名	【目標値】 参加者数850人 【目標値算出方法】 令和12年度目標値1,000人に対する段階的目標（第3次船橋市環境基本計画）	【実施結果】 参加者数 980人	決算額 222,042円 内市交付金 200,000円 内その他（協賛金等） 22,042円	市交付金 200,000円	4	
25	ふなばし環境フェア	環境政策課	Ⅱ学び楽しむ	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	市民、事業者及び行政それぞれが、環境意識を高め、健全で恵み豊かな環境の実現を目指すことを目的として平成10年より開催している。	市民・市民団体・事業者・行政が協働により、毎年6月に、ふなばし三番瀬海浜公園・環境学習館において、出展団体が環境に関する活動内容をパネルで紹介したり、工作・体験コーナーを通して参加者に環境への関心を深めるための環境啓発を行っている。	実行委員会	後援	【目標値】 参加者数2,500人 【目標値算出方法】 令和12年度目標値3,000人に対する段階的目標（第3次船橋市環境基本計画）	参加者数 約2,500人	【目標値】 参加者数2,600人 【目標値算出方法】 令和12年度目標値3,000人に対する段階的目標（第3次船橋市環境基本計画）	【実施結果】 参加者数 約3,000人	決算額 500,429円 内市交付金 400,000円 内その他（協賛金等） 100,429円	市交付金 400,000円	3	
26	セミのめげがら調査	環境政策課	Ⅱ学び楽しむ	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	夏の代表的な昆虫であるセミのめげがらを調べることにより、身近な自然への関心を深め、自然環境保全思想の醸成を図ることを目的に、平成16年度から実施している。	下記の調査場所での調査を行う。セミのめげがらの集め方、分類方法を実際に行いながら学び、最後に標本を作成する。 【調査場所】 ①運動公園 ②アンデルセン公園 ③行田公園	船橋市環境政策課	主催	【目標値】 参加人数80人 【目標値算出方法】 コナナ前の来場者数を元に算出	調査場所 3会場（運動公園、アンデルセン公園、行田公園） 参加人数64人 （参考）申込人数110人、当選人数82人、当日キャンセル等あり 特記事項：令和4年度の参加人数が少なかったため、実施会場を4会場から3会場に変更した。	【目標値】 参加人数80人 【目標値算出方法】 コナナ前の来場者数を元に算出	【実施結果】 調査場所 3会場（運動公園、アンデルセン公園、行田公園） 参加人数69人 （参考）申込人数247人、当選人数、当日キャンセル等あり 特記事項：開催回数について、夏の暑さが更に厳しくなり、4会場開催では、講師（市民等）・職員の問題もあり、ひいては安全なイベント参加環境を確保できなくなる恐れがあるため、令和5年度に引き続き3会場で行った。 広報については、例年実施している市の広報の他、「ちいき新聞」1面に事業の紹介記事が掲載されたことで、申込人数が増加した。	決算額 99,136円 （総費）講師謝礼金 78,000円 （総費）傷害保険料 8,500円 （使用料及び賃借料）駐車場利用料金 2,700円 （消耗品費）調査用消耗品費（歯ブラシ代）7,356円	予算額 141,510円 （総費）講師謝礼金 89,750円 （総費）傷害保険料 9,300円 （使用料及び賃借料）駐車場利用料金 4,000円 （消耗品費）調査用消耗品費（歯ブラシ代）7,356円	3	やむを得ない直前のキャンセルにより参加人数が目標値を下回っているが、申込人数は目標人数を達成できていることを考慮し、左記の評価としている。
27	ふなばし音楽フェスティバル	文化課	Ⅱ学び楽しむ	基本目標Ⅱ学び楽しむ施策② 文化の本質を尊重しつつ、時代の要請に対応した事業の展開	基本目標Ⅰ気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	平成6年に船橋市総合体育館の開館記念事業として、市内の音楽団体が中心となって実施した「千人の音楽祭」を核に、平成7年度から、公民館等の市民に身近な場所で良質な音楽を提供する「地域ふれあいコンサート」、アマチュア（社会人）ビッグバンドの祭典である「ビッグバンド船橋」などホール主催事業を取りまとめ、「ふなばし音楽フェスティバル」として開催している。平成26年度からは「ふなばしミュージックストリート」、令和元年度より「まちかど音楽ステージ」も加わった。	「音楽でまちを元気に！」を合言葉に多くの方に音楽を楽しむ機会を提供するとともに、音楽団体・演奏家と市民との交流を促進し、本市の音楽文化の振興に寄与する。また、事業の企画・運営は市民を中心としたボランティアによる実行委員会が担い、市民の力を結集し創意工夫のもと事業展開をしている。	実行委員会	主催	【目標値】 来場者数14,000名 【目標値算出方法】 コナナ前の来場者数を元に算出	①令和5年10月16日～22日…第10回ふなばしミュージックストリート ②令和6年1月27日～3月9日…地域ふれあいコンサート ③令和6年2月4日…第31回音楽のまち・ふなばし千人の音楽祭 ④令和6年1月14日…29th BAND STAND FUNABASHI ⑤令和5年5月～12月の最終金曜日…まちかど音楽ステージ ⑥令和6年1月20日…アフタヌーンコンサート ⑦令和6年1月28日…船橋第九演奏会 ⑧令和6年1月18日、2月15日、3月21日…ちよっとよりみちライブ 総出演者数 2,984名 総来場者数 17,184名	【目標値】 来場者数14,000名 【目標値算出方法】 コナナ前の来場者数を元に算出 ※令和5年度は千人の音楽祭とミュージックストリートが千葉県150周年記念事業に該当し、900万円の補助金交付を受けて、例年より規模を拡大したため。	①令和5年10月19・20日…第11回ふなばしミュージックストリート ②令和7年1月～3月…地域ふれあいコンサート ③令和7年2月2日…第32回音楽のまち・ふなばし千人の音楽祭 ④令和7年1月19日…31th BAND STAND FUNABASHI ⑤令和6年5月～12月の第2・第4金曜日…まちかど音楽ステージ ⑥令和7年1月～3月…ホール主催事業	決算額 23,857,447円 内市交付金 21,000,000円 内県補助金 9,000,000円 内その他（協賛金・参加費等） 3,720,189円	17,525,300円	5	

第2次船橋市文化振興基本方針 進捗管理シート

1: 目標を大幅に下回ってしまった。
 2: 目標をやや下回ってしまった。
 3: おおむね目標通りに達成できた。
 4: 目標をやや上回る実績が得られた。
 5: 目標を大幅に上回る実績が得られた。

No.	事業名	担当課	最も該当する基本目標	最も該当する施策	関連する基本目標・施策	開催経緯	事業概要	実施主体	市との関わり	令和5年度目標	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実施予定	令和5年度決算額	令和6年度予算額	令和5年度目標達成度	備考
28	ふなばしミュージックストリート	文化課	Ⅱ学び楽しむ	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策② 文化・芸術の本質を尊重しつつ、時代の要請に対応した事業の展開	基本目標Ⅰ 気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることのできる機会の提供	20年余り続いてきた千人の音楽祭が、小中学生を中心としたプログラムに軸をシフトしてきた流れの中で、成人団体がより活躍できる新たなイベントを望む声が多く聞かれるようになった。こうした声を背景に、平成26年度にポップスやロック、ワールドミュージックなど、垣根のない幅広い音楽を楽しめる市民参加イベントとして、「音楽でまちを元気に！」をスローガンに、ふなばし音楽フェスティバルの新たな事業として発足した。	「音楽でまちを元気に！」をテーマに、市民が音楽に触れる機会を提供するとともに、街の賑いの創出に貢献する。	実行委員会・市	主催	【目標値】 来場者数8,500名 【目標値算出方法】 コロナ前の令和元年度第6回ふなばしミュージックストリートの来場者数を元に算出	開催日 ①令和5年10月16日～20日…バックストリートミュージック ②令和5年10月21日・22日…屋外4会場でのライブパフォーマンス ③令和5年10月21日…あおぞらカラオケライブ ④令和5年10月22日…弾き語りコンテスト、学生バンドコンテスト 総出演団体数 延べ139組 総出演者数 延べ648名 来場者数 10,480名 実行委員27名、当日ボランティア146名(2日間の延べ人数)	【目標値】 来場者数10,000名 【目標値算出方法】 前年度来場者数を元に算出	開催日 ①令和5年10月15日～17日…バックストリートミュージック ②令和6年10月19日・20日…ライブパフォーマンス、あおぞらカラオケライブ ③令和6年10月19日…学生バンドコンテスト ④令和6年10月20日…弾き語りコンテスト	決算額 7,899,943円 内報償費(謝礼等) 410,000円 内常用費(消耗品費等) 1,605,922円 内役員費(通信運搬費等) 311,300円 内委託料(舞台設営等) 5,040,486円 内使用料及び賃借料(家賃使用料等) 58,300円 内備品購入費(スピーカー等) 373,935円 内雑費(コンテスト賞金) 100,000円	5,215,700円	5	令和5年度には、第10回という節目を迎え、千葉県誕生150周年記念事業として規模を拡大し、初めて1週間にわたって開催した。
29	まちかど音楽ステージ	文化課	Ⅱ学び楽しむ	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策② 文化・芸術の本質を尊重しつつ、時代の要請に対応した事業の展開	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	街の一角を市公認の音楽ステージとして開放し、路上等で音楽活動をする者の健全な活動の誘導を図るとともに、音楽文化の向上と地域の活性化に寄与することを目的として平成26年度から開始。	ストリートミュージシャン等の演奏活動を確保するとともに、市民に対し身近に音楽に親しんでもらう場を提供する。	市	主催	【目標値】 入場者数630名 【目標値算出方法】 コロナ前の令和元年度の総観客者数2,419名を開催日35回で割った人数が約70名。 70名×全9回=630名	5月から12月にかけての最終金曜日(祝日及び年末年始を除く)全9回(5月26日、6月30日、7月28日、8月25日、9月29日、10月27日、11月24日、12月22日、3月22日(企画ステージ・『春フェス2024』)) 午後6時～午後8時30分(30分×5ステージ)	【目標値】 入場者数1,280名 【目標値算出方法】 令和5年度の総観客者数を開催日8回で割った人数が約80名。 80名×全16回=1,280名	5月から12月にかけての第2・第4金曜日(祝日及び年末年始を除く)全16回実施予定 午後6時～午後8時30分(30分×5ステージ)	決算額 110,330円 内委託料(通常ステージ立ち合い業務委託) 108,900円 内役員費(手数料) 1,430円	193,600円	3	令和2年以降は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施を見送っていたが、令和5年5月からステージ数を半分にして再開した。
30	郷土資料を活用した事業	西図書館	Ⅱ学び楽しむ	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策② 文化・芸術の本質を尊重しつつ、時代の要請に対応した事業の展開	基本目標Ⅳ 活かす伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	昭和25年から郷土資料の収集を続け、現在多数の貴重資料(古文書・浮世絵等)などを所蔵している。その存在を周知し、郷土の歴史・文化研究への活用を促進するために事業を行っている。	西図書館郷土資料室で所蔵する貴重資料(古文書・浮世絵等)などを活用した事業を行う。	市	主催	【目標値】 実施回数12回以上	・館内郷土展示コーナーで貴重資料を紹介する展示を、月に1度資料を変えて行った。12回 ・館内ギャラリーコーナー貴重資料展示:1回 ・市民ギャラリー貴重資料展示:1回 ・郷土関連講座:2回	【目標値】 事業実施3回以上	・館内ギャラリーコーナー貴重資料展示:1回 ・市民ギャラリー貴重資料展示:1回 ・郷土関連講座:2回	市民ギャラリー使用料:73,710円	市民ギャラリー使用料:78,190円	3	令和3年度から郷土資料の展示スペースで貴重資料に関する展示を行い、目標値の実施回数に含めていた。令和6年度からはより身近な郷土関連情報発信として新聞記事等を活用した展示をしている。更新は週に数回行っているが、事業の実施回数としないため目標値を変更した。
31	音楽のまち・ふなばし千人の音楽祭	文化課	Ⅲ育みつなげる	基本目標Ⅲ 育みつなげる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	基本目標Ⅲ 育みつなげる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	平成6年1月30日、市内の音楽団体、小中学校が中心となり、船橋アリーナの落成記念事業として出演者800名、観客2,000名で始まる。翌年から実行委員会を立ち上げ、市内の音楽関係者が創意工夫をし、企画・運営を担っている。市民がより多く参加できるよう毎年企画を検討している。第4回開催から「ふなばし音楽フェスティバル」事業として実施しており、音楽のまち・船橋を代表する事業として、市民と共に作り上げる音楽祭として定着している。	市内の音楽団体が一堂に会し、世代やジャンルを超えた交流をすることで、音楽文化の振興を図る。また、子供たちの未来につながる音楽祭として、事業を通じて音楽のまち・ふなばしにふさわしい音楽環境の整備に寄与していく。	市	主催	来場者満足度90% 【目標値算出方法】 来場者アンケート中の、「大いに楽しめた」「楽しかった」の回答割合が回答数に占める割合により算出	開催日:令和6年2月4日(日) 会場:船橋アリーナ 出演者数:1,947人 来場者数:1,734人 来場者満足度:95%	来場者満足度90%	開催日:令和7年2月2日(日) 会場:船橋アリーナ	決算額 12,565,531円 内千葉県誕生150周年記念補助金 6,000,000円 内市交付金 6,565,531円	予算額 9,645,000円	4	
32	ハッピーサタデー事業	青少年課	Ⅲ育みつなげる	基本目標Ⅲ 育みつなげる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	基本目標Ⅲ 育みつなげる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	完全学校5日制実施に伴い、自宅で過ごす子供たちの活動場所の提供として事業が始まる。	原則毎月第3土曜日を「ふなばしハッピーサタデー」の日として、市内26公民館が地域の団体、町会・自治会、学校と連携を図りながら、子供たちがスポーツや文化活動に親しむことを目的に、様々な事業を実施している。	各公民館	主催	延べ参加者数 75,000人 開催回数 276回	延べ参加者数 59,238人 開催回数 276回	延べ参加者数 75,000人	開催回数 300回	決算額 2,819,225円 内国庫支出金 603,000円	予算額 3,180,000円 内国庫支出金 853,000円	2	
33	楽器貸与事業	指導課	Ⅲ育みつなげる	基本目標Ⅲ 育みつなげる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	基本目標Ⅲ 育みつなげる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	「創意と工夫ある教育」「特色ある学校づくり」の一環として、昭和56年度より開始した。貸与年数9年を経た楽器については指導課備品から学校備品へ保管転換を行っていたが、平成28年度からは保管転換をせず指導課備品として扱うこととなった。	音楽科の授業を基盤として、一層充実した音楽活動を展開することにより、音楽部員のみならず、全校児童生徒の音楽環境の向上を図る。また、「創意と工夫ある教育」「特色ある学校づくり」の一環として、地域や学校行事の中で、生活に根ざした音楽活動を展開することによって、児童生徒に学校生活の楽しさを味わわせ、情操の涵養を図る。平成30年度の貸与楽器数は75台であり、今までに2058台の貸与ができていく。	市	主催	貸与希望校数に対する貸与率 100% 【目標値実績 73.1%】 新規購入分については、希望した41校のうち30校分を購入し楽器を配置した。その他、令和4年度より、貸与楽器とは別に、学校備品の楽器の修繕を計画的に進め、学校間での配置転換を行った。	貸与希望校数に対する貸与率 100%	楽器の貸与希望校に対して楽器の貸与を行う。	【決算額 10,173,900円】	【予算額 9,500,000円】	2		
34	造形作品展	指導課	Ⅲ育みつなげる	基本目標Ⅲ 育みつなげる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	絵画を中心とした平面作品は、巡回展、夢・アート展等で発表していたが、立体作品の発表の場がなかった。中学校美術部会では、独自に中学校美術科作品展を勤労市民センター等で開催していた。平成5年2月に船橋市民ギャラリーがオープンしたのをきっかけに、小中学校合同の造形作品展となった。平成6年度、小中学校が統一した展覧会名「船橋市小・中・養護学校造形作品展-子供たちの色・形・夢-」として行なった。	絵画作品を中心とした展示や発表の場は各種コンクールを中心に極めて多いが、立体表現の発表の場は少ないことから、立体造形の表現力の育成も重視していかなければならない。そこで、市内小・中・特別支援学校の児童生徒の立体作品の展示の場を設け、立体作品の教材や題材についての研究の機会とする。また、児童生徒の意欲や鑑賞力の向上を目指しながら、船橋市の回画工作・美術教育の一層の充実を図っていく。	実行委員会	主催	【目標値】 入場者数4800人【目標値算出方法】 出品予定数×3	【開催実績】 会期:2月3日～2月9日 7日間 会場:船橋市民ギャラリー 出品数:1600点 入場者数:5,342人	【目標値】 入場者数4800人【目標値算出方法】 出品予定数×3	【開催予定】 会期:2月4日～2月9日 会場:船橋市民ギャラリー 出品数:約1600点	418,140円	418,140円	4	
35	夢・アート展	指導課	Ⅲ育みつなげる	基本目標Ⅲ 育みつなげる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	基本目標Ⅱ 学び楽しむ施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	船橋市内の公立小・中・特別支援学校の児童生徒が、図工・美術の授業の中で取り組んだ代表作品(各学校6～8点)を展示する。この催しは、昭和40年代の「小・中学校写生会・巡回展」を発展させたものであり、平成5年度に現在の名称「夢・アート展」に変更し、平成11年度まで「船橋市民ギャラリー」で開催。平成12年度からは、会場を「アンデルセン公園子ども美術館」に移し開催。	児童生徒の夢や願いを多様な平面作品に表すことを通じて、豊かな情操を養うとともに創造的表現力の伸長を図る。各校の作品展と夢・アート展を通して、児童生徒の鑑賞力の向上と指導者の作品評価及び指導法の改善に資する。	指導課	主催	【目標値】 入場者数1800人【目標値算出方法】 出品予定数×3	【開催実績】 会期:8月23日～9月3日 12日間 会場:アンデルセン公園子ども美術館 出品数:609点 入場者数:3,539人	【目標値】 入場者数1800人【目標値算出方法】 出品予定数×3	【開催予定】 会期:7月24日～8月4日 会場:アンデルセン公園子ども美術館 出品数:約600点	226,513円	232,882円	5	

第2次船橋市文化振興基本方針 進捗管理シート

1: 目標を大幅に下回ってしまった。
 2: 目標をやや下回ってしまった。
 3: おおむね目標通りに達成できた。
 4: 目標をやや上回る実績が得られた。
 5: 目標を大幅に上回る実績が得られた。

No.	事業名	担当課	最も該当する基本目標	最も該当する施策	関連する基本目標・施策	開催経緯	事業概要	実施主体	市との関わり	令和5年度目標	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実施予定	令和5年度決算額	令和6年度予算額	令和5年度目標達成度	備考
36	小・中学校音楽教育会合唱委託事業	指導課	Ⅲ育みつながる	基本目標Ⅲ育みつながる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	基本目標Ⅲ育みつながる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	小中学校合唱発表会は令和元年度で第33回を迎える。昭和62年から発表会の中でプロの合唱団による鑑賞会を実施している。	プロの演奏の鑑賞の機会を設けることにより、その素晴らしさを感じさせ、情操教育の充実を図る。	市	主催	公演数 【30分公演×2回】	公演数 【30分公演×2回】 プロの合唱の鑑賞の機会を設けることにより、その素晴らしさを感じさせることができた。	公演数 【30分公演×2回】	公演数 【30分公演×2回】	【決算額 942,857円】	予算額 【1,265,000円】	3	
37	学校音楽鑑賞事業	指導課	Ⅲ育みつながる	基本目標Ⅲ育みつながる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	基本目標Ⅲ育みつながる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	昭和58年度から実施している。開催費用の1/3は県の補助を受け、2/3を市の負担で支出している。保護者の負担はない。平成15年より文化課から指導課の事業となった。	小中学生の情操の涵養を図るため、優れた音楽を鑑賞する機会を提供し、もって芸術活動への参加の気運を醸成する。	市	共催	実施校数 【9校】	【指標値実績 9公演(9校)】 プロのオーケストラである千葉交響楽団を各学校に招き演奏していただくことで、音楽の楽しさ、素晴らしさ、楽器の知識・理解を深めることにつなげることができた。	実施校数 【8校】	実施を希望した学校から、8公演の実施を行う。	【決算額 5,328,000円】	予算額 4,736,000円	3	
38	小・中・特別支援学校書写展覧会	指導課	Ⅲ育みつながる	基本目標Ⅲ育みつながる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	基本目標Ⅲ育みつながる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	千教研書写部会・中学校国語部の協力を得て、各学校において校内書写展覧会を実施した上で、各学校の各学年1点(小学校6点、中学校3点、特別支援学校9点)の書写作品を、市民ギャラリーにおいて展示している。・小学校1・2年生は標準作品、3年以上、及び中学校が毛筆の作品、原則として、授業で学習した教材が望ましいとしている。平成10年度から18年度まで総合教育センターで行っていたが、平成19年度より市民ギャラリーを会場としている。	国語科書写指導の一環として展覧会を行い、書写に対する意欲の高揚と技術の向上を図る。	市	主催	来場者数 【2,000人】	【決算額 413.034円】 【指標値実績 約2,099名】 開催日：令和6年1月16日(火)～1月21日(日) 会場：船橋市民ギャラリー 来場者：2,099人 通常開催することができた。	来場者数 【2,000人】	開催日：令和7年1月16日(木)～1月21日(火) 会場：船橋市民ギャラリー	決算額 413.034円	予算額 425,365円	3	
39	船橋市文化部活動指導員派遣事業	指導課	Ⅲ育みつながる	基本目標Ⅲ育みつながる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	基本目標Ⅲ育みつながる施策① 子供が文化・芸術に親しみ、心豊かに成長するための取組の充実	国が平成29年4月に部活動指導員の制度化を行い、その後、県のモデル事業を経て、各市町村での実施が可能となった。船橋市では、平成31年度から運動部活動指導員の派遣を、令和2年度から文化部活動指導員の派遣を開始した。	中学校の文化部活動に所属している生徒への専門的な指導や教職員の働き方改革を行うため、学校教育法施行規則第78条の2に基づき「中学校におけるスポーツ、文化科学等に関する教育活動(学校の教育課程として行われるものを除く)に係る技術的な指導に従事する」部活動指導員を学校の職員として配置する。	市	主催	派遣指導員数【15人】 中学校数の1/3以上	【指標値実績 13名】 配置校・人数(部活動名) ・宮本中学校・2人(管弦楽部・琴曲部) ・海神中学校・1人(華道部) ・三山中学校・1人(吹奏楽部) ・若松中学校・1人(吹奏楽部) ・葛飾中学校・2人(管弦楽部・合唱部) ・御滝中学校・1人(コンピュータ部) ・坪井中学校・1人(茶道部) ・三田中学校・1人(管弦楽部) ・高根中学校・1人(吹奏楽部) ・芝山中学校・1人(合唱部) ・古和釜中学校・1人(吹奏楽部)	派遣指導員数【11人】 中学校数の1/3以上	配置希望校15校に18人配置 配置校・人数(部活動名) ・宮本中学校・2人(管弦楽部・琴曲部) ・海神中学校・2人(華道部・吹奏楽部) ・三山中学校・1人(吹奏楽部) ・若松中学校・1人(吹奏楽部) ・葛飾中学校・3人(管弦楽部・合唱部・書道部) ・御滝中学校・1人(コンピュータ部) ・坪井中学校・1人(茶道部) ・三田中学校・1人(管弦楽部) ・高根中学校・1人(吹奏楽部) ・豊富中学校・1人(美術部) ・古和釜中学校・1人(吹奏楽部) ・法田中・1人(吹奏楽部) ・二宮中・1人(合唱部) ・行田中・1人(演劇部)	【決算額 3,176,527円】	予算額 3,903,900円	2	
40	文化団体意見交換会	文化課	Ⅲ育みつながる	基本目標Ⅲ育みつながる施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持つための取組の構築	基本目標Ⅱ育みつながる施策① あらゆる人々が文化・芸術活動に参加できる環境の整備	平成28年度に「文化振興基本方針」の策定にあたり、市民より意見を聴取するため、「子供・青少年に対する取組」をテーマに社会教育関係団体に登録のある文化団体による意見交換会が開催された。そこで、各団体の情報の共有や意見交換の場が必要であるとの共通認識を持ったことから、継続的に文化団体の意見交換会を実施し、文化振興の体制づくりを推進することとした。	意見交換会を通じて、文化団体間の連携・協力を推進したり、市民が主体となって本市の文化振興を回す一助とする。	市	主催	開催見送り	開催について検討	0円	0円				
41	学習成果の活用支援	社会教育課	Ⅲ育みつながる	基本目標Ⅲ育みつながる施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持つための取組の構築	基本目標Ⅲ育みつながる施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持つための取組の構築	自主的に「何かを学びたい、体験したい」と思っている人と、自分の技能や知識をボランティアとして生かしたいと思っている人とを結び付け、生涯学習の機会を増加させるため、平成13年度より開始した。	サークル活動や講座受講などで学んだことを実際に活かしたり、自分がもつ技能や知識を活かしたいと思っている人と、学びたいと思っている人とを結び、学び合いを促進する仕組みの構築について検討していきます。	市	主催	生涯学習サポート事業へのボランティア講師登録数及び実施件数の増加	【登録者数】 57名 【実施件数】 12件	生涯学習サポート事業へのボランティア講師登録数及び実施件数の増加	昨年度に続き、「生涯学習サポート事業の手引き」を作成し、各公民館及び図書館に配布。また、利用促進のためチラシを作成し配布。	0円	0円	3	
42	障害者週間記念事業	障害福祉課	Ⅲ育みつながる	基本目標Ⅲ育みつながる施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持つための取組の構築	基本目標Ⅰ気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	障害者基本法第9条で定められている障害者週間(12月3日～9日)に合わせた事業。令和4年度はイオンモール船橋(11月25日、26日)と市役所本庁舎1階美術コーナー(11月19日、20日、23日)で開催。令和5年度はイオンモール船橋(12月1日、2日)で開催予定。	障害や障害のある人への理解と関心を深めてもらうとともに、障害のある当事者自身がイベントに参加することにより社会参加への意欲を高めてもらう。令和4年度の内容については、作品展、合同販売会、補助犬理解啓発ブースを設置した。	船橋市	主催	来場者(船橋市民)の理解促進度(%) 100%	来場者(船橋市民)の理解促進度(%) 94.9%	来場者(船橋市民)の理解促進度(%) 100%	第1部 日程：12月6日(金)、7日(土) 場所：イオンモール船橋 第2部 日程：1月21日(火)～24日(金)、27日(月) 場所：市役所本庁舎1階美術コーナー	決算額 665,572円	予算額 1,362,000円	3	
43	姉妹都市交流事業	国際交流課	Ⅲ育みつながる	基本目標Ⅲ育みつながる施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持つための取組の構築	基本目標Ⅰ気づき始める施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届ける仕組みの構築	昭和61年11月7日に本市にとって最初の姉妹都市提携をアメリカ・ヘイワード市と結び、デンマーク・オーデンセ市(平成元年4月6日)、中国・西安市(平成6年11月2日)とそれぞれ姉妹・友好都市提携を結んできた。これらの提携に基づいてテーマ毎の交流を行っている。	船橋市民を中心に広く国際交流親善についての理解と関心を高め、かつ、積極的に地域に根ざした各種交流事業を行うことを目的とする。	市	主催	【目標値】 参加人数500人	【指標値実績 233人】 特記事項 【船橋&ヘイワード姉妹都市バーチャル交流会】(無料)を実施 【1回 71人】	【目標値】 参加人数500人	オーデンセ市姉妹都市提携35周年・西安市友好都市提携30周年記念事業を実施予定	【決算額 4,359,254円】	19,421,000円	2	
44	市民主体の国際交流支援事業 相互理解促進事業	国際交流課	Ⅲ育みつながる	基本目標Ⅲ育みつながる施策② 文化事業への参加を通じて、市民が地域や社会とのつながりを持つための取組の構築	基本目標Ⅰ気づき始める施策② 気軽に多様な文化に触れることができる機会の提供	市民を中心に草の根で国際交流親善を図るとともに、外国人住民との相互理解が深まるような事業を協会と協力して実施している。	市民主体の国際交流促進と、市内に住む人同士の相互理解を深めるため、インターナショナルフェスティバル、日本語ひろば、国際理解セミナー、文化交流事業などを行う。	船橋市国際交流協会	共催	【目標値】 参加人数900人	【指標値実績 6,028人】 特記事項1 インターナショナルフェスティバル2023 【5600人】 アンデルセン公園にて実施 特記事項2 日本語ひろば等【169人】	【目標値】 参加人数900人	インターナショナルフェスティバル、日本語ひろば、国際理解セミナー等を実施予定	【決算額 3,600,000円】	3,600,000円	5	
45	埋蔵文化財普及事業 遺跡・文化財学習の推進	文化課	Ⅳ活かし伝える	基本目標Ⅳ活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	基本目標Ⅳ活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	平成26年の海老ヶ作貝塚発掘事件の原因の一つとして、遺跡の価値が十分に地域住民に知られていなかったことが考えられる。わかりやすく、気軽に遺跡を知ることができる機会を継続して設けることで、遺跡の価値を地域住民に伝えていく。特に歴史をはじめて学ぶ小学6年生に重点的に周知を図る。	埋蔵文化財(遺跡)は目に触れにくい。遺跡の価値をわかりやすく地域住民に発信し、共感を得ることで、遺跡の保護をはかる。	市	直営	普及用遺跡マップを10,000部作成し、市内の小学1年生を中心に配布した。また、取掛西貝塚についてリーフレットおよびパンフレットを20,000部作成し、市内の小学6年生を中心にリーフレット、市内の中学1年生を中心にパンフレットを配布した。さらに、市内遺跡3か所に遺跡説明板を設置した。そのほか、出前講座等への講師派遣を14回行った。	普及用遺跡マップを10,000部作成し、市内の小学1年生を中心に配布する。また、取掛西貝塚について児童用パンフレットを20,000部作成し、市内の小学3年生を中心に配布し、広く市民等への遺跡の重要性や魅力の周知を図る。さらに、市内遺跡3か所に遺跡説明板を設置する。	決算額 2,230,000円 内需要費(印刷製本費)1,147,300円 内委託料(遺跡説明板設置)1,083,500円	2,320千円				

第2次船橋市文化振興基本方針 進捗管理シート

1: 目標を大幅に下回ってしまった。
 2: 目標をやや下回ってしまった。
 3: おおむね目標通りに達成できた。
 4: 目標をやや上回る実績が得られた。
 5: 目標を大幅に上回る実績が得られた。

No.	事業名	担当課	最も該当する基本目標	最も該当する施策	関連する基本目標・施策	開催経緯	事業概要	実施主体	市との関わり	令和5年度目標	令和5年度実績	令和6年度目標	令和6年度実施予定	令和5年度決算額	令和6年度予算額	令和5年度目標達成度	備考
46	文化財普及事業 遺跡・文化財学習の推進	文化課	IV活かし伝える	基本目標IV活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	基本目標IV活かし伝える施策② 地域の有形・無形の文化財を大切に守り、次世代へ継承する仕組みの構築	時代とともに失われつつある文化財の保護のため、多くの方々に文化財について理解していただくために、普及活動を行うことが欠かせないため。	指定・登録文化財及びその他の文化財を広く周知し、文化財を将来に継承する一助とすることを目的とする。	市	直営		「本造地蔵菩薩坐像(ゆるぎ地蔵)」の説明板を新しいものに更新した。また、「難陀龍王」の説明板を除去した。英語の併記に加え、中国語(簡体字)・韓国語の解説をホームページで閲覧可能とした。 そのほか、出前講座等への講師派遣を5回行った。		文化財説明板の新設・建替えを2基行う予定である。 また、2回の出前講座への講師派遣を予定している。	決算額 553,493円 内高費用(消耗品費) 104,143円 内後務費(筆耕組料) 25,850円 内委託料(文化財説明板設置) 423,500円	879千円		
47	郷土資料館主催事業(展示事業・教育普及事業) 吉澤野球博物館資料展示室(企画展/常設展示入れ替え) 21世紀のデジタルプロジェクト	郷土資料館	IV活かし伝える	基本目標IV活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	基本目標IV活かし伝える施策② 地域の有形・無形の文化財を大切に守り、次世代へ継承する仕組みの構築	「ふるさと船橋」への思いを育む生涯学習施設として、船橋市に関連する考古・歴史・民俗等の資料についての調査・研究・保存・活用を図り、市民の学習・文化活動の推進及び支援に努めるための展示事業と教育普及事業。	①船橋の歴史や文化について、わかりやすく市民に伝え、利用者が地域住民の多様なニーズに沿った展示事業・教育普及事業の開催。 ・学芸員が持つ知見やスキルを十分に活用し、展示活動・教育普及活動を実施していく。 ・学校教育機関と連携した事業を実施し、学習内容に即した資料を提供することにより、児童生徒の学習活動を支援する。	市	主催	【目標値】 入場者数30,000人 事業参加者数1,500人 【目標値算出方法】 過去3年の実績値より算出	【入場者数】 25,095人 【事業参加者数】 3,357人	【目標値】 入場者数30,000人 事業参加者数3,500人 【目標値算出方法】 過去3年の実績値より算出。	企画展「船橋の食文化」 吉澤野球博物館展示室企画展「君の推しはどこだ！～戦国千夏の甲子園～」 企画展「くらしの道具展」 企画展「新京成電鉄の風景」 地域史講座 文化講演会 スポーツ講演会 古文書講座 各種ワークショップなど	1,215,278円 内訳：展示事業 1,091,686円 教育普及事業 123,592円	1,511,000円 内訳：展示事業 1,369,000円 教育普及事業 142,000円	2	
48	飛ノ台史跡公園博物館主催事業(展示事業・教育普及事業)	飛ノ台史跡公園博物館	IV活かし伝える	基本目標IV活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	基本目標I 気づき始める施策① 気軽に多様な文化に触れることができる機会を提供	海神公民館建設のため飛ノ貝塚の発掘調査を行ったところ、縄文時代早期の貴重資料が多数発見されたことから、飛ノ台史跡公園博物館建設に変更され、平成12年11月に開館し、開館当初より、市内の遺跡や縄文文化に対する理解等のために教育普及事業を行っている。	①市内の遺跡や縄文文化に対する興味や理解を深めてもらう。 ②「ふるさと船橋」への愛着を育む機会とする。 ③歴史博物館に併れ、親しみを抱いてもらう。	飛ノ台史跡公園博物館	主催及び共催	①市内の遺跡や縄文文化に対する興味や理解を深めてもらう。 企画展示4事業 企画展示4事業 延べ開催日数168日 利用者数14,527人 【教育普及事業】 ワークショップ、縄文大学等7事業 延べ参加者数5,014人 その他の事業等を含め、総利用者数26,529人	①市内の遺跡や縄文文化に対する興味や理解を深めてもらう。 ②「ふるさと船橋」への愛着を育む機会とする。 ワークショップ、縄文大学ほか その他博字連携事業等	【展示事業】 1,969,997円 【教育普及事業】 504,786円	【展示事業】 2,294,000円 【教育普及事業】 714,000円	3			
49	ふなばし市民発見サイト	市民協働課	IV活かし伝える	基本目標IV活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	基本目標I 気づき始める施策① 文化・芸術に関する情報を効果的に届けられる仕組みの構築	様々な知識、経験や技能を持つ個人の情報を収集、発信することを目的に平成27年3月に開設。同年10月に、それまで市民活動団体の情報を収集・蓄積していた「ふなばし市民活動情報ネットワーク」を統合し、現在は個人及び団体の情報が掲載されている。	市内において、様々な知識、経験、技能等を持つ、若しくは公益的な活動を行う個人又は団体に関する情報を、市が収集・蓄積し、インターネットを介して提供することにより、市民力の活性化を目指す。発見サイトに登録すると、登録者(団体)にIDとパスワードが付与され、団体の概要やイベントの告知、会員の募集等の記事の掲載や、団体のホームページのリンクを貼ることで、サイト内で情報発信ができる。	市	主催	利用登録数 合計600	利用登録数 団体 544団体 個人 32人	利用登録数 合計 500 ※今年度サイトの情報の充実を目的に会員登録の抹消条件を追加しました。その影響で、大幅に減少することが見込まれ、目標値が減少しています。	決算額 1,584,000円	1,584,000円	2		
50	船橋市デジタルミュージアム資料のデジタル化及び公開事業	文化課	IV活かし伝える	基本目標IV活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	基本目標IV活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	平成28年度公益財団法人図書館振興財団提案型助成事業の採択を受け、西図書館が所蔵する貴重資料の保存と利用の両立、及び文化課が所管する美術品の一部をデジタル化しインターネット上で公開するために、「船橋市デジタルミュージアム」を開発。その後、郷土資料館・飛ノ台史跡公園博物館の資料を追加、拡充を進め、令和2年4月にリニューアル公開した。令和4年度より本事業の取りまとめを文化課が引継ぐ。	図書館・文化課・博物館が所蔵する資料や美術品等をデジタルアーカイブ化し、インターネット上で公開する「船橋市デジタルミュージアム」を管理する。また、市民の生涯学習活動など幅広い用途で活用されるよう、令和4年度以降、デジタルミュージアムに参加する各施設において資料情報の充実を図っていく。	市	主催	【目標値】 アクセス数 (1ヶ月平均値) 35,000アクセス	【指標値実績】 35,833アクセス (R5.4～R6.3)	【目標値】 アクセス数 (1ヶ月平均値) 38,000アクセス	決算額 1,056,000円 内使用料及び賃借料(サーバ/利用料) 1,056,000円	2,001,450円	4		
51	取組西貝塚保存事業	文化課	IV活かし伝える	基本目標IV活かし伝える施策② 地域の有形・無形の文化財を大切に守り、次世代へ継承する仕組みの構築	基本目標IV活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	平成26年に起こった海老く作貝塚埋没事件を受け、重要な遺跡を後世に伝えるため、開発等に先行して遺跡を保護する施策に積極的に取り組む。	重要な遺跡を後世へ伝えるため、調査・分析・研究を行った遺跡の価値を明らかにし、市・県・国指定史跡化を積極的に図り、開発等に先行して保護する。	市	直営		史跡指定地内の土地について、米ケ崎町の1筆を地権者より買上げ、境界ロープ設置などの整備を行った。また、令和元年度に千葉県地方土地開発公社に委託し代行買収を行った飯山満町1丁目の土地2筆については、公社より買戻した。その他、史跡指定地内の市有地における除草や古びた木柵を鉄柵へ更新するなど史跡の維持管理を行った。	史跡指定地内の土地を新たに2筆買上げし、バリケード設置などの整備を行う。また、既に市有地となっている範囲の除草を定期的に実施するなど史跡の維持管理を行う予定である。	決算額 72,349,196円 内報酬 3,102,240円 内報償費 294,352円 内旅費 178,905円 内高費用 32,882円 内後務費 722,255円 内委託料 2,378,200円 内公有財産購入費 65,640,362円	52,321千円			
52	埋蔵文化財保護事業	文化課	IV活かし伝える	基本目標IV活かし伝える施策② 地域の有形・無形の文化財を大切に守り、次世代へ継承する仕組みの構築	基本目標IV活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	文化財保護法に基づき、遺跡内で計画された開発等工事と埋蔵文化財保護の調整を行い、適切に埋蔵文化財を保護する。	埋蔵文化財の保護のため、遺跡で開発等工事を計画している事業者と、可能な限り遺跡を現状で保存するため、遺跡が破壊される範囲が最小限になるよう、事前に調整・協議を行う。やむを得ず遺跡が破壊される場合は、発掘調査を実施し、整理・分析を行って報告書を刊行し、記録を後世に伝える。	市	直営		開発等に伴う発掘調査(本調査)を13件、開発等に伴う発掘調査(確認調査)を24件、発掘調査報告書刊行を6冊行った。	埋蔵文化財の保護のため、遺跡で開発等工事を計画している事業者と、可能な限り遺跡を現状で保存するため、遺跡が破壊される範囲が最小限になるよう、事前に調整・協議を行う。やむを得ず遺跡が破壊される場合は、発掘調査を実施し、整理・分析を行って報告書を刊行し、記録を後世に伝える。	決算額 143,222,025円 内報償費(調査指導謝礼など) 78,400円 内高費用(調査・整理用消耗品材など) 3,567,514円 内後務費(通信運搬費など) 2,044,871円 内委託料(測量委託など) 123,402,400円 内使用料及び賃借料(重機・施設借上料など) 14,128,840円	190,125千円			
53	文化財調査事業	文化課	IV活かし伝える	基本目標IV活かし伝える施策② 地域の有形・無形の文化財を大切に守り、次世代へ継承する仕組みの構築	基本目標IV活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	文化財としての価値等を確認するとともに、将来に伝えていくことを目的に記録保存を行う必要性がある。	指定・未指定文化財を調査し、その内容や歴史を記録する。保存が困難なものについては、記録保存を行い、後世に資料を残す。保存が可能なものについては、指定等を含む保護処置について文化財審議会に諮るために、調査を実施し、資料を作成する。	市	直営		船橋市文化財審議会を1回開催した。新型コロナウイルス感染症による制限が解除され、多くの民俗行事が復活し、神楽などの指定文化財のほか、未指定文化財の調査を4件(即内八坂神社例祭、本町八坂神社例大祭、八坂神社例大祭、香千つづ)行った。	指定・未指定文化財を調査し、その内容や歴史を記録する。また、保存が困難なものについては、記録保存を行い、後世に資料を残す。保存が可能なものについては、指定等を含む保護処置について文化財審議会に諮るために、調査を実施し、資料を作成する。	決算額 88,200円 内報酬(文化財審議会委員報酬) 49,000円 内報償費(文化財調査指導謝礼) 39,200円	334千円			
54	文化財保護事業	文化課	IV活かし伝える	基本目標IV活かし伝える施策② 地域の有形・無形の文化財を大切に守り、次世代へ継承する仕組みの構築	基本目標IV活かし伝える施策① 各地域の文化資源を活用する取組の充実	指定・登録文化財の伝承や維持に、多額の費用がかかることから、伝承者や所有者の要望により、維持管理や修繕などの費用の一部補助を行う。	文化財を保護し、将来へ残すことを目的とし、指定・登録文化財及びその他の文化財の状況、実態調査結果に基づき、保護についての指導等を行う。また、指定・登録文化財へ管理伝承事業、修理等についての補助金を交付する。	市	直営		下野牧二和野馬土手の除草・樹木剪定を行った。「船橋市文化財保護事業補助金交付要綱」に基づき、21件の指定・登録文化財の所有者等に管理伝承費の補助(1件40,000円)を行った。また、「高根町神明社の神楽」と「二宮神社の神楽」に修理等費用の補助を行った。	下野牧二和野馬土手の除草を行う。また、市内の指定・登録文化財の管理伝承費や緊急修繕等に対し、補助を行っている。	決算額 2,627,200円 内委託料(下野牧二和野馬土手除草業務・樹木剪定業務) 1,650,000円 内負担金補助及び交付金(文化財修理等事業補助金) 977,200円	2,040千円			